

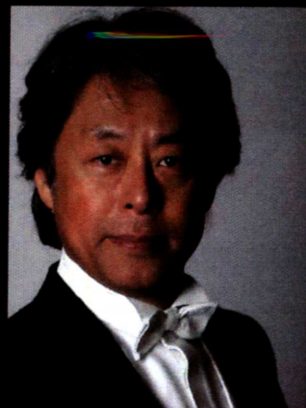
# 第2回京都仏教音楽祭

## ～平和の祈りを世界へ～

炎の祭典 阿含の星まつり40回記念行事

2013年1月19日(土)

びわ湖ホール



指揮 / 湯浅 卓雄

■ 開場：午後3時

■ 開演：午後4時

■ 演奏 / 京都市交響楽団  
合唱 / 京響コーラス  
法螺 / 阿含宗修験一統

■ 作曲 / 黛 敏郎

■ 演奏予定曲(順不同)

- 〈1〉「阿含の星まつり前奏曲」
- 〈2〉交声曲「慈母観音讃歌」
- 〈3〉交声曲「般若心経」
- 〈4〉交響詩「輪廻(さむさーら)」
- 〈5〉「大佛讃歌」



■ びわ湖ホール/大津市

入場料：S席¥4,000 A席¥3,000 B席¥2,000

チケット取扱いお問い合わせ

- びわ湖ホール Tel: 077-523-7136  
(窓口販売のみ10:00~19:00/火曜日休館・休日の場合は翌日)
- チケットぴあ Tel: 0570-02-9999 [Pコード 183-755]  
インターネット受付 <http://t.pia.jp/>
- ローソンチケット 関西地区 Tel: 0570-084-005 [Lコード 51428]  
インターネット受付 <http://l-tike.com/>
- KBS京都事業部 Tel: 075-431-8300  
(電話予約のみ 平日10:00~12:00、13:00~17:00)

チケット発売 11月1日(木)

■ 主催 / 第2回京都仏教音楽祭実行委員会

【事務局】大阪府吹田市春日2丁目1-4-803 映像ヤマト内  
TEL 06-6190-2813 FAX 06-6190-2810 e-mail [inori@eiizo-yamato.com](mailto:inori@eiizo-yamato.com)

■ 特別協賛 / 阿含宗 ■ 後援 / KBS京都・京都新聞社・京都新聞COM

■ 制作協力 / 映像ヤマト・アオイスタジオ・スリーシェルス

祈り



# 第2回京都仏教音楽祭

炎の祭典 阿含の星まつり40回記念

## 平和の祈りを世界へ

千年の都・京都の暮らし、そこには古くから様々な祈りの姿がありました。新しい年を迎えて神仏に感謝を捧げる「初詣」。夏の夜空に光り輝く送り火に先祖や知人の御霊の安寧を願う「大文字」。そして厳寒の京都、東山の山頂で燃え上がる大護摩に世界の平和と人々の幸福を祈念する「阿含の星まつり」。冬の京都の風物詩として親しまれる「阿含の星まつり」は40回目を迎えます。その記念行事として開催されるこの音楽祭は、仏教思想の真髄を音楽で描き続けた黛敏郎の楽曲を通して、世界の調和と人類の共存を説く仏教ならではの「平和の祈り」を世界に発信する為に開催するものです。

作曲 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi

(1929年2月20日 - 1997年4月10日)

1945年、東京音楽学校(現東京藝術大学)へ入学。橋本國彦、池内友次郎、伊福部昭等に師事。1948年に作曲した「十個の独奏楽器の為のディヴェルティメント」により才能が認められる。1950年作曲の「スフェノグラム」は翌年の国際現代音楽祭に入選、その名が内外に知られる。1951年、パリ国立音楽院へ留学。トニー・オーバン等に学ぶ。フランスから帰国後、我が国で初めての電子音楽を手がけた共に「ミュージック・コンクレートの為の作品X・Y・Z」等を発表。1953年、芥川也寸志・團伊玖磨等と「3人の会」を結成。また、吉田秀和等と「二十世紀音楽研究所」を設立。雅楽・声明をはじめ日本の伝統音楽にも造詣を深める一方、バレエ・オペラ・映画音楽とシンフォニックな大作を多数作曲。1964年よりテレビ番組「題名のない音楽会」の企画、出演。東京藝術大学講師、茶道「裏千家淡交会」顧問・評議員、「自由国民会議」代表世話人、「日本を守る国民会議」運営委員長、「日本作曲家協議会」会長、「日本著作権協会」会長等を歴任。



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年に創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」等を受賞。2008年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。2010年11月広上淳一指揮によるライブ録音CD第1弾を発売し、2012年2月にはライブ録音CD第2弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

京響コーラス Kyoto Symphony Chorus

1995年秋、京都コンサートホール開館記念の京都市交響楽団定期演奏会「第九」での演奏を機に京響第九合唱団として結成。京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組み、更に音楽的な活動を展開する合唱団として2012年4月から「京響コーラス」と名称を変更し、創立者の井上道義を創立カベルマイスター、京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、16歳以上の約150名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館で練習を行っている。



指揮 湯浅卓雄 Takuo Yuasa

現在、最も国際的な活躍が目覚ましい日本人指揮者の一人。高校卒業と同時にアメリカに留学。シンシナティ大学音楽院作曲理論科を経て、ウィーン国立音楽大学指揮科でハンス・スワロフスキー等に師事。1976年 ウィーン・トンキュンストラ管弦楽団を指揮してデビュー。1979年 フィテルベルク国際指揮者コンクールに入賞。欧州各地で着実に実績を重ねる一方、1984年から5年間、群馬交響楽団指揮者を務めた。1989年から1994年までBBCスコットランド交響楽団首席客演指揮者、1997年から2005年まで英国・アルスター管弦楽団首席客演指揮者を歴任。ロンドン・フィル、フランス国立管、オスロ・フィル、ラハティ響、ベルリン響、シドニー響、ニュージーランド響など各国の主要オーケストラに度々客演。2007年、井植文化賞文化芸術部門受賞。現在、東京藝術大学、演奏芸術センター教授。

## 楽曲紹介(順不同)

### 1 阿含の星まつり前奏曲

作曲/黛敏郎 1986年

この曲は、1986年の第13回阿含の星まつり以来、大衆護摩の始まりを告げる音楽として毎回演奏され、「星まつり序曲」として親しまれている。コンサート形式で演奏されるのは今回の音楽祭が初めてである。3管編成のフル・オーケストラで演奏されるこの曲の大きな特徴は、ほら貝とホルンが左右二組に分かれて掛け合うという、序奏部のユニークな演奏に見られる。実際の式典ではこの音響効果を損なわぬよう、初演のときから当時としては極めて珍しい最新のマルチ・チャンネル音響再生システムによって演奏され、毎年忠実に再現されて今日に至っている。

### 2 交声曲(カンタータ)「慈母観音讃歌」

作曲/黛敏郎 作詞/橋本登美三郎 1975年

黛敏郎作曲、橋本登美三郎作詞による「慈母観音讃歌」は、昭和50年(1975年)、当時、自由民主党の重鎮であった橋本登美三郎氏が、地元の茨城県潮来市に慈母観世音菩薩の御堂建設の世話人代表として慈母観音水雲山涌音寺を建立し、その落慶法要で初めて奉納演奏された。「慈母観音讃歌」は発表以来33年目の演奏となるが、初演の落慶法要ではテープ再生によって演奏されたため生演奏は今回が初めてである。

### 3 交声曲(カンタータ)「般若心経」

作曲/黛敏郎 1976年

この曲は、昭和51年(1976年)、奈良薬師寺の金堂落慶法要で演奏されたほか、平成5年(1993年)に公開された伊丹十三監督作品映画「大病人」では、黛敏郎自身の指揮によって新たに録音された曲が映画のクライマックスに使われている。この曲が純粋にコンサート・プログラムとして演奏されるのは、今回が初めてである。

### 4 交響詩「輪廻(さむさーら)」

作曲/黛敏郎 1962年

輪廻…梵語samsāraの音写。車の輪が廻って果てしがないように、衆生が煩惱と業によって、三界六道の迷いの世界を生まれかわり、死にかわりして廻って止まぬこと(「仏教辞典」より)。交響詩(輪廻)は、1960年から1962年にかけて作曲された。交響詩とは言っても、ある特定の劇的内容を持つものではなく、単に音楽の発想と構成が課題曲であることを示すに止まる。したがって、課題の(輪廻)も、何ら具体的なストーリーとは関係なく、もっぱら抽象的に音楽の精神内容を暗示している。

### 5 大佛讃歌

作曲/黛敏郎 作詞/井沢満 1983年

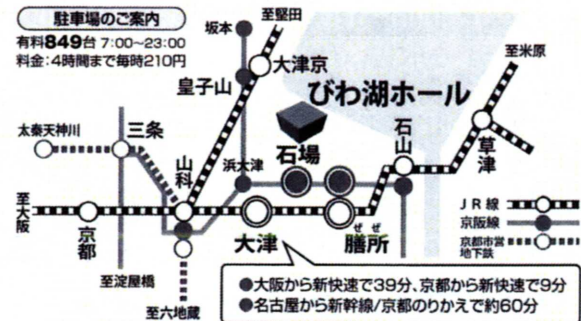
黛敏郎作曲、井沢満作詞によるこの曲は、阿含の京都大仏祭に奉納演奏されるべく、阿含宗管長・桐山靖雄大僧正が黛敏郎氏と初めて直接お会いになり、直々に依頼されて完成した記念碑的作品である。3管編成のフル・オーケストラに加えてパイプオルガンが使用され、多数の混声合唱団を要する壮大な曲である。昭和58年(1983年)、完成間もない大阪のザ・シンフォニーホールで黛氏自身の指揮による発表演奏会が行われ、2010年の第1回京都仏教音楽祭に続いて、今回が3度目の演奏となる。

### ●阿含の星まつりとは

正式には「神仏両界大衆護摩供」と呼び、毎年2月11日(祝)、本山(京都市山科区北花山大峰)境内地において厳修される阿含宗最大の行事で、参加者が例年50万人を超えています。この護摩供は、仏教の総本尊「真正正舎利尊」および、神界の主神として素戔之男命を奉安し、大導師を務められる桐山管長が長年の修行の中で体得された、「神仏両界の秘法」によって奉修されます。2013年、この阿含の星まつりは40回目を迎えます。



びわ湖ホール 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1  
TEL. 077-523-7133 FAX. 077-523-7147



### 【びわ湖ホールへの交通のご案内】

- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、または(約7分)(びわ湖ホール下車)
- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車「岩塚」駅より徒歩約3分